

新たな野球場整備に関する説明会

(豊橋総合スポーツ公園 B 地区における野球場について)

1. 実施状況

日 時	令和 7 年 9 月 5 日 (金)	令和 7 年 9 月 7 日 (日)
	19:00 から 20:30 まで	10:30 から 12:00 まで
開催場所	豊橋市総合体育館 研修室	ライフポートとよはし 中ホール
参加者	94 名	100 名

2. 質疑等要旨と回答又は対応

質 疑 等 要 旨	回 答 又 は 対 応
【1. 野球場の計画地について】	
①野球場の計画地について、高師緑地も検討していると聞いたが、豊橋総合スポーツ公園で決定か。	①～⑤豊橋総合スポーツ公園 B 地区に野球場を 3 面整備する場合に必要な面積と同規模の土地を当てはめることが可能であるかなど、高師緑地や市街化調整区域の複数個所にて整理しました。 市内の野球場が抱える課題への対応や、野球関係者からの要望、スポーツ環境の充実、また、学識者からいただいた意見を反映させ、より高い安全性を確保できると判断したことから、運動公園として位置づけられている豊橋総合スポーツ公園の B 地区に野球場を整備することとしました。
②液状化も心配なこの地域に野球場を作るべきではないし、他の場所で多くの意見を聞いてほしい。	
③豊橋総合スポーツ公園 B 地区に新たな野球場を整備することとなった経緯があると分かりやすい。	
④なぜ、あえて特定避難困難地域である総合スポーツ公園に野球場を移転することを決めたのか。建てる必要があるのか。	
⑤高師緑地やそれ以外のところも検討したが良くなかったと言われていた。石巻は広い土地が多いと思うので、一度検討してみしてほしい。	
【2. 事業費について】	
①事業費が 42 億から 60 億になった理由について聞きたい。	①基本計画では、類似他球場の整備費を参考に事業費を算出しています。基本設計では、概算数量と見積により事業費を算出したため乖離が生じており、増額費用の約 7 割を占めています。その他約 3 割は、ウォーミングアップエリア等の追加やグラウンドの舗装等を変更したことによるものです。
②総事業費 60 億円のうち用地費の内訳を教えてください。	②基本計画では用地費を約 12 億円としております。基本設計で告示した総事業費 60 億円の用地費の内訳については、地権者との交渉前であるため、告示することはできません。

質 疑 等 要 旨	回 答 又 は 対 応
③新聞記事では他の場所で造っても総事業費が変わらないと載っていたがどういうことか。	③他の場所でも野球場を 3 面整備する場合には、設計・整備費、土地取得・補償費合わせて少なくとも 53 億円程度は必要と考えています。 豊橋総合スポーツ公園で整備する場合には 53 億円に加え、盛土の費用として 4 億円、液状化対策の費用として 3 億円を計上しています。
④議会で豊橋総合スポーツ公園 B 地区以外で整備すると交付金がもらえないと聞いた。	④議会では、現在の社会資本整備総合交付金の計画で、豊橋総合スポーツ公園以外の場所に野球場を整備する場合、計画の範囲内になるのかという問いがありました。 広域的な防災拠点である豊橋総合スポーツ公園において野球場を整備する事業は、国土交通省の社会資本整備総合交付金において、重点的に交付金を受けることができる防災公園整備の整備計画に位置付けています。他の公園で整備する場合は、その計画の範囲外となります、と答弁しました。
⑤起債返済の説明をしてほしい。総額と返済計画を教えてほしい。	⑤一般的な話として、補助率 1/2 では約 60 億円のうち約 30 億円が市の負担です。その約 30 億円のうち 9 割は起債を活用することができます。 市への交付税措置がある起債を活用し、その償還は概ね 20 年を想定しています。
⑥60 億円かけて避難場所を造ることは非常に問題。	⑥⑦今後の設計において、金額を精査してまいります。
⑦アリーナも含めてお金を使い過ぎで心配で、少しでも安い方法はないかと思っている。	
⑧維持管理費はどの程度か。また、税金から支出されるのか。	⑧維持管理費は、施設の設計を終えていないため、現時点でお示しすることはできません。 参考に、旧豊橋球場（1 面）の維持管理費は、指定管理料として年間約 2 千万円です。
【 3. 設計について】	
①南海トラフ地震はここだけではなく豊橋全体、日本全体が被災するので、対策が施されていくことを願う。	①～③安全対策は、指定緊急避難場所として必要な基準をすべて満たした整備をしております。 加えて、学識者からいただいた意見に対応することにより安全性を高め、整備をしております。
②人命を軽視している。津波の対策は、生存率を上げることだと思うが、対策をすれば生存率が 100% になるわけではないため、整備すべきではない。野球場を整備しても誰も死なないことが自信を持って言ってもらえるなら結構と思う。	
③一番大事なのは利用者の安全なので、自信を持って安全性が確保できるように整備してほしい。	

質 疑 等 要 旨	回 答 又 は 対 応
④野球場の駐車台数は少し余裕を持った台数としてほしい。	④⑤新たに整備する駐車場の台数は、野球関係団体への聞き取り結果を参考に、新たに自家用車を約 300 台、大型バスを約 10 台整備する計画としています。
⑤新設によって何台駐車ができるスペースが確保されるのか。	
⑥盛土の工事に何年かかるのか。	⑥スケジュールは定まっていますが、盛土の工事は概ね 2 年程度かかると考えています。
⑦盛土の安全性や経済性について教えてほしい。	⑦盛土は圧縮に強いため、津波による水圧、波力、漂流物の衝突に対して影響を考慮しなくてよいとされています(津波防災地域づくりにかかる技術検討報告書)。地震動の揺れによる影響は今後の設計で解析を行い、安全についての検証をします。また、盛土材料を他工事から流用することで材料費を抑え、圧密沈下を自然圧密により対応するため、経済性に優れると考えています。
⑧液状化の発生は許すが施設の被害を軽減する対策とはどの程度のことを表しているのか。また、杭は岩盤に届くまで打っているのか。	⑧指定緊急避難場所としての機能を損なわない程度と考えており、詳細は今後の設計にて検討を行います。また、メインスタンド直下のコンクリート杭は支持層に到達するまで打ち込みます。
⑨行政もいろいろ考えてくれている。球場を作るならばボールを飛び出さないように整備してほしい。	⑨道路や公園利用者に野球場からのボールの飛び出しによる影響が及ばないよう対策を行ってまいります。
⑩サンドコンパクションパイル工法はどのような工法で、どのくらいの期間を要するのか教えてほしい。	⑩地中にケーシング(筒状)を打ち込み、ケーシングの中に砂を入れて締め固め、砂の杭を形成します。その杭を面的に配置することで、軟弱地盤を強固にし、地盤沈下や液状化を防ぐ工法です。工期については詳細な設計を行っていないため、お示しすることはできません。
【 4. 津波からの避難について】	
①内閣府が示した津波予測で愛知県は甚大な被害が予測されている。津波に向かって避難することになるような場所に野球場を建てるのが心配。	①～④指針を踏まえて避難計画を策定してまいります。また、近隣の方などが海から反対の避難場所まで避難すると津波に巻き込まれてしまう場合には、自宅よりは海側にある避難場所であっても速やかに避難するようにしておくことが望ましいことから、緊急避難的な避難場所として整備してまいります。
②平成 27 年に愛知県が市町村津波避難計画策定指針を出しており、避難路・避難経路の設定にあたっての留意点として「津波の進行方向と同方向へ避難する道路を指定・設定する(海岸方向に高台等がある場合であっても、できる限り海岸方向への避難は避ける)」との記載がある。	
③市民の命を軽視しているように感じる。	
④居住人口 330 人はメインスタンドに逃げる予定か。津波に向かって逃げる事を想定しているのか。	

質 疑 等 要 旨	回 答 又 は 対 応
⑤この場所は特定避難困難地域内であることと、液状化危険度が極めて高い地域である。今回の野球場整備によって何千人もの方が一時避難できたとしても、そこから他の場所へ移動することは困難だと考えている。防災危機管理課の方はこの場所をどのように考えているか。	⑤～⑧この地域は特定避難困難地域ですが、野球場は命山のような安心安全な施設になると考えています。また、一時的な避難後の避難者の移動については、国や県とともに、市としても万全な対応をまいります。
⑥南海トラフ地震が来たらここは陸の孤島になるのに、このような場所に作るのか理解できない。ヘリコプターが救助にくるとは思えない。	
⑦整備によって特定避難困難地域を縮小できるが解消ではない。	
⑧総合体育館やアクアリーナが避難場所として新たに指定されているなかで、盛土をして野球場を避難場所にすることが不可解。	
⑨アクアリーナ、総合体育館で避難受入れ可能な人数を教えてほしい。また、今回整備の野球場だけでなく総合体育館、アクアリーナなど総合スポーツ公園全体で利用者の避難場所が確保されると安心感が高まる。 周辺施設も含め、最大利用者数の場合にどこへどう避難すればいいのか。	⑨アクアリーナのデッキ部分（屋外）で 2,175 人、総合体育館の 2 階アプローチデッキ（屋外）で 193 人収容できる見込みです。今後、更に収容人数を増やすため、感震キーボックスなどを取り付け、総合体育館などの屋内に避難できるように検討しています。 今後、野球場の整備とあわせて避難計画について考えてまいります。
⑩野球場を指定緊急避難場所にした場合、避難時は屋外に避難することになるが、どの程度の滞在時間を見込んでいるか。また、避難者向けの水や食料を提供できる環境を整えるか。	⑩～⑬避難者が 3 日程度滞留することを前提とし、備蓄品などを設置してまいります。 メインスタンドは 1 人 1 席とし、外野フェンスの外側スペースは大人が座れる程度の 1 人あたり 1m ² で算出しています。
⑪津波が引くまでに東北では 2、3 日かかっており、5,500 人が避難できても孤立することが問題。	
⑫地震があった時第一に命を守ることが大事だと思う。避難したあと毛布、乾パンといった備蓄を行う予定はあるのか。	
⑬避難時の一人当たりのスペースはどれくらいか。 また、座って 5,500 人か寝て 5,500 人過ごせる想定なのか。	
⑭B 地区の少年野球場利用者だが、毎週土日に試合をしており、年に 1 回ないし 2 回、避難訓練をしている。これは全国で何処もやっていないこと。	⑭⑮避難行動については、公園利用者や周辺地域の方とともに考え、避難訓練等を行ってまいります。 今後、野球場の整備とあわせて避難計画について考えてまいります。
⑮盛土をしてあり大丈夫だけど、野球場へ、或いは野球場から避難する際の安全性は担保できていないと議会で言っていた。	

質 疑 等 要 旨	回 答 又 は 対 応
⑯避難した人に指示や情報が伝わるような放送設備は検討しているか。	⑯設置済みの同報系防災行政無線の活用も含め検討してまいります。
【 5. 地元からの意見について】	
①令和 6 年度の三郷地区での豊橋総合スポーツ公園 B 地区野球場基本計画の説明会に参加した。地元意見として出た照明、排水、渋滞等についての対応はどのように考えているか。	①地元からいただいたご意見について、丁寧に対応してまいります。
【 6. 東田球場について】	
①東田球場が令和 8 年度から使用できないと聞いているが使用期限の延長はできないのか。	①東田球場は、新たな野球場が整備された後に機能の集約化を予定しているため、直ちに使えなくなるものではなく、令和 8 年度も使用可能です。
【 7. イベント時の交通について】	
①イベントの時は公共交通などとタイアップするなどの計画はあるか。	①イベント開催時には主催者と事前に利用に関する打合せをして頂き、駐車場利用の方法やバス等による輸送を検討してまいります。
【 8. スケジュールについて】	
①実施設計がいつ行われて、いつ完成するか見込みを教えてください。	①～⑧スケジュールについては、今後検討してまいります。
②盛土高などの対策は専門の方が考えている。野球環境が非常に乏しい状況なので、スポーツのまちを掲げるならば早急に実行してほしい。	
③計画が遅れているためスピード感を持って進めてほしい。	
④3 月議会で神野新田地区に野球場をつくる予算を可決しているため、頑張ってもらいたい。早く進めることもコストダウンの一つだと思う。	
⑤2 年前に利用できなくなった豊橋球場は、小中学生にとって市民球場よりもなじみのある球場であったことや、野球ができなくなったことで、子供たちが憂き目にあっている。そのため、一刻も早く野球場を造ってほしいと要望を出している。	
⑥子供の 1 年 2 年は大変重要であり、事業が長引けば子供の夢を奪ってしまうと思う。早く事業を進めてほしい。	
⑦計画の停滞が一番困る。一刻も早く計画を実現させるように、行政の考え方を示してほしい。	
⑧やるのであればスピード感を持ってやってほしい。	

【 9. その他の意見】
①いくつかの候補地を検討するという資料がほしい。市長は決めるなら決めたと言えればいい。
②今回新たに野球場をつくることになり、説明会を開催しているが、安全であるならもっと大きい声で言ってほしい。
③雨や雪が降るなかで過ごさないといけない。駐車場を平面ではなく立体にしたら上に避難できると思う。
④今回のような説明会を開催することは大変良いことだと思う。B 地区で計画を進めている野球場を早く造ってほしいという切実な声があると改めて思った。
⑤中高生が学校帰りに練習しにくるのは大変なので、市街地や今の球場が一番良いが、どうしようもないかと思う。もう少し丁寧に議論を進めていただきたい。
⑥東田球場とか高師緑地の野球場は市民が利用しており、存続してほしいと思う。
⑦盛土高 T.P3.5m に対し、津波高 T.P2.9m であり、津波到達には 77 分程度かかる想定であるため、東北のように 7 m、9 m の津波が来るわけではない。海岸には愛知県が 80 億円をかけて整備した堤防があり、伊勢湾台風の波の高潮の高さを想定し T.P6.5m としている。矢板を 2 枚打ってその間を鉄の棒で結んでおり、津波が来ても大丈夫な堤防である。